

海外安全対策情報第4四半期（10～12月）

在ブルガリア日本国大使館

1 社会・治安情勢及び一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）シリアをはじめとする主に中東からの難民が国内に流入しており、9月以降、ソフィア市及び各地方都市において、治安当局により数十人単位で不法難民が拘束される事案が頻発した。

（2）邦人が被害者となる窃盗事件が、下記のとおり2件発生した。

ア ひったくり

10月6日、旅行者（男性）がソフィア市内路上において、携帯電話1台及びカメラ2台を盗まれた。

イ 仮睡者ねらい

12月下旬、旅行者（男性）がベオグラード発ソフィア行きの長距離列車内において、リュックサック内から貴重品を盗まれた。

2 テロ・爆弾事件発生状況

10月29日、ソフィア市内において、対戦車ロケット弾（RPG）を使用して元国家保安庁幹部の車両を攻撃する事件が発生したが、死傷者はいなかった。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の事件は認知していない。

4 日本企業の安全に関する諸問題

対日感情は基本的に良好であり、特段の変化は見られない。

以上